

(様式1)

学校番号 (小・中 19)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立積志中学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

地域と学校、地域と中学生のつながりを深める。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

第1回の運営協議会で、学校長より説明があり、委員からも建設的な意見が出た。またランドデザインについては、昨年度末の提案の時に提出された意見により一部修正が見られた。学校運営方針に関する校長先生の考えや思いを共有することができた。生徒からの意見も聞けるとさらによかった。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

今年度の重点のひとつ「学びの充実」のため、授業における地域人材の導入がスタートできた。生徒にとっては、より専門的な、より個に沿った学習ができたと思う。地域防災訓練や休日の部活動地域展開についても、学校支援に関わる活動について熟議をして計画を作成し、次年度に向けて新たな一歩を踏み出すことができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

ホームページに学校運営協議会の会議録に加え、「CSだより」を4回発信することができた。一方、閲覧状況は分からない。認知度が少しずつ上がってきている。「CSだより」を積志協働センターに掲示もいいのではないかと思う。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

地域と学校、地域と中学生・保護者とのつながりを深める。(今年度ものものに「保護者」という言葉を入れる。)